



公明党仙台市議団

# おだしま久美子通信



2019  
新年号

公明党会派室 青葉区国分町3丁目7-1 022-214-8718 FAX 022-711-3454



おだしま久美子通信新年号をご覧いただきありがとうございます。

第4回定例会代表質疑の内容の要旨を掲載させていただきました。

昨年は自然災害が多発し甚大な被害がもたらされました。改めて「防災・減災」の重要性を認識し、災害に強い街・地域づくりに取り組んでいくことを決意し、防災士の資格を取得しました。市民の皆様へ災害情報の共有と被害の回避への備えの周知も更に促進してまいります。又仙台市市議会「いじめ問題等調査特別委員会理事」を務める中、子どもたちの教育環境の充実を求めた質疑の内容も掲載しております。

今後共も皆様からのご意見とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

(公職選挙法により時節の挨拶は控えさせていただきます。)

小田島久美子



## 公明党仙台市議団は2019年度の「予算及び制度改正に係る要望書」を11月29日提出しました。



東日本大震災からの復興を成し遂げていく施策を推進し、更には、いじめや不登校対策の強化も強調しております。

被災者生活再建支援制度の拡充を国に求めることや、いじめ防止に向けた条例制定、フリースクールの情報共有や連携の強化を新たに要望しました。

市長からは「しっかりと検討した上

で、反映に努めていく」との回答がありました。

更には、市長からは、今年8月に公明党仙台市議団が「エアコン設置の緊急要望」を行ったことで、「公明党の懸命な要望活動があってエアコン設置について決断させていただいた」と話していただきました。

市民の福祉向上にとって、今なにが必要なのか、現場で求めている事業は何か日頃の広聴活動の中から寄せられた多くの声の一つが、来年度にやっと学校へのエアコン設置というカタチになります。

現場の声をつなぐのは、県市町村の地方議会と国とのネットワークであると思います。この度の政府の補正予算成立に向けた、取り組みを公明党仙台市議団は推進し見守ってきました。





## H30年第4回定例会、代表質疑 12月12日



### 【「命を守る防災」につながるどころの「想定外」を「想定する」ための適切な情報提供】

**質疑：**仙台市の地震のハザードマップは、将来に起こる自然災害につながる可能性となる地形についても市民に対して分かり易くお示しすべき

**市長：**地質学等専門家の意見の地形特性を踏まえ作成している。最新の知見を取り入れ見直しを図り、更なる工夫も検討する

**質疑：**「自主防災組織の整備」や「防災リーダーなどの人材の確保と育成」については工夫した取組が必要

**市長：**若い世代や女性など多様な活動主体が地域防災の担い手となりますよう人材の裾野を広げる

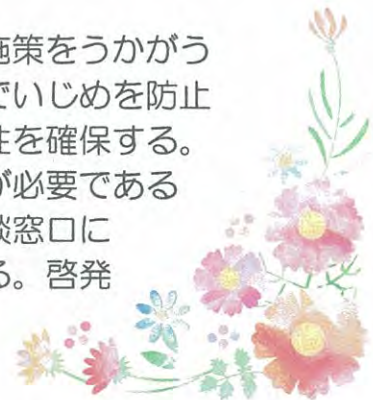
### 【いじめ防止対策】

**質疑：**いじめ防止対策条例が実効性あるものとなるための施策をうかがう

**市長：**教職員の意識改革のさらなる徹底を図り、社会全体でいじめを防止する機運を醸成するための啓発に努め、条例の実効性を確保する。

**質疑：**発達障害への理解の水準を社会全体で高める施策が必要である

**答弁：**健診や子育て支援の場などで子供の発達や、各種相談窓口についての情報を掲載した冊子の作成作業を進めている。啓発し発達障害の理解が深まるよう努める



### 【小中学校等へのエアコン設置】

**質疑：**約3900室のエアコン設置は大規模な設備工事。どのような対応を想定か

**答弁：**工事発注を早期に設置し地元業者が受注できるよう分割発注を行う

### 【仙台市客引き行為等の禁止に関する条例】

**質疑：**具体の施策と評価指標はどうなるのか

**答弁：**市がパトロールや取締りを行い、宮城県県警と協議し具体の取締りを検討

**質疑：**学生等アルバイトへの条例等への周知と理解と雇用主への罰則明示厳格に

**答弁：**大学等での説明会やリーフレットやポスターの配布啓発に取り組む。罰則の過料は雇用主にも適用し取締りを行う。

### 【選挙を身近に感じられるための期日前投票所などの拡充】

**質疑：**期日前投票所を大型商業施設等や大学等での実施さらには移動投票所を求む

**答弁：**投票環境の更なる向上が必要、期日前投票所増設は、大きな課題。選挙執行の際に確実に使用できる施設の安定的な確保の検討を深める。



### 【西田中工場(焼却施設)解体工事契約】

**質疑：**近隣住民環境への安全対策の確保や市道劣化への影響について適切な対応を

**答弁：**解体工事伴う騒音、振動、粉じん等の対策を行う。工事車両は、通学時間帯を避け、敷地出入口に誘導員を配置し、市道の汚損や劣化等も適切に対応する。



### 【海岸公園の荒浜地区に避難の丘】

**質疑：**平時のにぎわいを推進し復興のシンボリックな観光スポット的な施設か。

**答弁：**フルーツ狩りの体験型観光果樹園や、スポーツやキャンプなどが楽しめる施設、農業・自然・地域文化を体験できる施設を予定。



### 【児童館と放課後等デイサービス事業の充実】

**質疑：**適正な時期に登録児童数の推計を実施し、施設整備を拡充することが必要

**答弁：**児童クラブ登録児童数の推計を更新し、必要な学区でサテライト室を増設している。来年4月に7学区での整備を進めている。

**質疑：**放課後等デイサービス報酬改定の影響に伴う適切な対策を求める。

**答弁：**事業所から、報酬の減額により支援体制の維持が難しいと意見が寄せられた。本市では、9月から11月にかけて、利用児童の状態像の再判定手続きを実施。今後この調査結果を分析し、国への要望を検討するなど。

**質疑：**指標判定に関しては保護者や区保健福祉センターとの連携の充実を図るべき

**答弁：**区保健福祉センターにおいて、保護者・事業所から聴き取り調査を行う。

### 【仙台市奨学金返還支援事業の素案】

**質疑：**市長は「3年を限定として」と発言されておりますが、発言はどのように受け止めれば良いのか。聞きようによっては、「とりあえず3年」「その先も続けたい」なのか。それとも「今がチャンス」「今だけ」とあくまで一時的、時限的とされるのか。実施効果と評価をどこに見定め、いつの時点において次への施策を検討をされるのか伺う。3年先の希望に光が射さすのか、射さないのか、大きな分かれ目。市長のメッセージを、ここで明確に示していただきたい。

**答弁：**中小企業の人材確保の状況や本事業の利用実績、企業、学生から意見を伺い効果の検証し、国の交付税措置の状況等も勘案しながら検討する。

**質疑：**そもそも市長が公約に掲げた「本市独自の新たな奨学金制度」とは、このような事業だったのか。この事業では、奨学金を受けていた人への支援になっても、奨学金を受けていなかった人、受けていない人への支援にはなっていない。これが公約したものだったとすれば、学生の期待にお応えしているところなのか危惧する



**答弁：**企業の人材確保の支援と奨学金の返済がご負担となっている若者の支援

**質疑：**公約に掲げた奨学金の規模(人数とか金額)としては十分と思われるか

**答弁：**国としての高等教育無償化ということについて議論が活発化して流れをみる

**質疑：**財源「奨学金返還支援基金」を創設し1億1340万円、学生年70人3年間で210人。人数枠の設定についての根拠をとるところをお示しください。

**答弁：**地元就職者の上積みや県内就職希望者で県外就職をした割合を勘案

**質疑：**既に年明けの1月下旬から希望する企業を募り、3月中旬にも対象企業を認定する、認定企業を何社まで想定し学生とのマッチングの施策を検討するのか。

**答弁：**認定企業数の想定は100社を超える企業見込んでいる。市のHPや学生向け就職情報サイトで広報、チラシによる周知、合同企業説明会等のPR。



**いじめのない社会をつくるために  
—いじめ撲滅プロジェクト「BE A HERO」が仙台にて開催—  
公益社団法人子どもの発達科学研究所(片山泰一理事長)に仙台市教育委員会より感謝状贈呈!!**

公益社団法人子どもの発達科学研究所(大阪大学大学院教授・片山泰一理事長)と一般社団法人 IWA JAPAN (岩隈久志共同オーナー)のもとに始まった「BE A HERO」(いじめ撲滅プロジェクト)が仙台市立広瀬中学校(11月27日)と高森中学校(11月28日)において開催されました。



また、11月27日に岩隈久志選手が仙台市長を表敬訪問。仙台市教育委員会からは子どもの発達科学研究所(大阪大学大学院教授・片山泰一理事長)に感謝状が贈呈され、代表して岩隈選手に授与されました。公明党仙台市議団小田島議員は、これまで「いじめ撲滅に向けてのプロジェクト」を積極的に推進し、5月にIWA JAPANで開催された研修会に参加

し、仙台市においても同プロジェクトを普及・啓発することを推進しておりました。

高森中学校の生徒代表の挨拶では「これまで何回か、いじめ防止の講演を受けてきたけれど、今回のように自分たちで考え、自分たちで意見を出し合えたのは、とても良かった」と感想を寄せておりました。岩隈選手曰く「いじめる側・いじめられる側・傍観者・先生・保護者それぞれが、いじめは間違いなく悪い事だと自覚し、一人一人が正しい行動を当たり前に行っていき、カッコいいヒーローになってくれる事を強く願っています。いじめられたら必ず周りに助けを求める事、求められた側は絶対に助ける事、傍観者には決してならない、相手の立場に立って考える事、いじめる事や暴力がどれほどみじめでカッコ悪い行為かを再認識し、皆が住みやすい世の中になる事を願い、行動し勇気を持ってヒーローになろう!」と話されています。



**皆さまのお声の実現!! 館2丁目・3丁目の危険な交差点を点検!!**



交通事故が多発している状況から、10月23日に泉警察署・泉区役所と地域の方々と合同点検を実施し、改めて危険個所の検証を行いました。

止まれの標識を新たに付け替え、視界を塞いでいた樹木対策を行い、今年度中に十字マークの設置と外側線に破線表示を実施!!